



平成28年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 あい ホールディングス株式会社
コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 佐々木 秀吉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 吉田 周二

TEL 03-3249-6335

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第3四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	36,885	19.7	6,267	13.3	6,477	△3.2	4,443	0.1
27年6月期第3四半期	30,804	7.4	5,533	2.4	6,691	21.3	4,441	29.3

(注) 包括利益 28年6月期第3四半期 3,596百万円 (△22.8%) 27年6月期第3四半期 4,656百万円 (29.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第3四半期	93.83	—
27年6月期第3四半期	93.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年6月期第3四半期	47,693	33,361	69.9	704.41
27年6月期	44,678	31,398	70.3	662.95

(参考) 自己資本 28年6月期第3四半期 33,361百万円 27年6月期 31,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年6月期	—	15.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	25.8	8,300	16.6	8,600	2.1	5,700	2.1	120.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期3Q	56,590,410 株	27年6月期	56,590,410 株
② 期末自己株式数	28年6月期3Q	9,228,995 株	27年6月期	9,228,252 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期3Q	47,361,881 株	27年6月期3Q	47,362,959 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善等により穏やかな回復基調が継続しました。一方、海外において、米国経済は個人消費が堅調でありましたが、中国及びアジア新興国の景気は減速しており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は368億8千5百万円（前年同四半期比19.7%増）となり、営業利益は62億6千7百万円（前年同四半期比13.3%増）、経常利益は営業外収益として計上した持分法による投資損益が前年同四半期の11億5千2百万円から2億3千5百万円に減少したこと等により64億7千7百万円（前年同四半期比3.2%減）、親会社に帰属する四半期純利益は44億4千3百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けセキュリティシステムの販売が、新規・リプレースとも、引き続き堅調に推移したこと等により、売上高は84億4千8百万円（前年同四半期比14.4%増）、セグメント利益は29億2千8百万円（前年同四半期比30.9%増）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、鉄骨業界向けの専用CADソフトの販売が引き続き好調に推移し、前連結会計年度に買収した海外子会社の売上も貢献しましたが、販売経費の増加等により、売上高は42億2千4百万円（前年同四半期比56.8%増）、セグメント利益は6億3千1百万円（前年同四半期比16.3%減）となりました。

③ 保守サービス

保守サービスにつきましては、売上高は12億5千万円（前年同四半期比2.2%減）、セグメント利益は1億2千7百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。

④ 情報機器

情報機器につきましては、海外市場におけるコンシューマ向け小型カッティングマシンの販売が好調に推移したこと等により、売上高は119億9百万円（前年同四半期比18.8%増）、セグメント利益は15億6千4百万円（前年同四半期比23.9%増）となりました。

⑤ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、環境試験装置の受注増加等により、売上高は17億9千1百万円（前年同四半期比10.7%増）、セグメント利益は1億5千9百万円（前年同四半期比16.0%増）となりました。

⑥ 設計事業

設計事業につきましては、工事進行基準適用が翌四半期に延びた事により、売上高は37億7千8百万円（前年同四半期比5.4%減）、セグメント利益は6億4千7百万円（前年同四半期比8.0%減）となりました。

⑦ リース及び割賦事業

リース及び割賦事業につきましては、売上高は50億3百万円（前年同四半期比51.6%増）、セグメント利益は9千2百万円（前年同四半期比26.6%増）となりました。

⑧ その他

その他につきましては、売上高は4億7千6百万円（前年同四半期比6.7%減）、セグメント利益は1億8百万円（前年同四半期比308.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して30億1千4百万円増加し、476億9千3百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金15億9千2百万円増加、商品及び製品13億6千5百万円増加、無形固定資産ののれん3億3百万円増加等であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して10億5千1百万円増加し、143億3千2百万円となりました。主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金7億8千2百万円増加等であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して19億6千2百万円増加し、333億6千1百万円となりました。主な要因は、四半期純利益44億4千3百万円の計上、配当金14億2千万円の支払、その他有価証券評価差額金1億3千1百万円減少、為替換算調整勘定7億7百万円減少等であります。この結果、自己資本比率は69.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年8月19日付の「平成27年6月期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,176	14,800
受取手形及び売掛金	6,968	8,560
リース投資資産	834	793
商品及び製品	5,815	7,181
仕掛品	220	418
未成工事支出金	197	152
原材料及び貯蔵品	782	854
その他	1,736	2,061
貸倒引当金	△49	△53
流動資産合計	31,681	34,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,415	1,324
土地	4,316	4,316
その他(純額)	986	1,011
有形固定資産合計	6,719	6,653
無形固定資産		
のれん	1,520	1,823
その他	181	188
無形固定資産合計	1,701	2,012
投資その他の資産		
投資有価証券	364	213
関係会社株式	2,773	2,747
その他	1,590	1,355
貸倒引当金	△152	△57
投資その他の資産合計	4,576	4,258
固定資産合計	12,997	12,923
資産合計	44,678	47,693

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,816	6,598
未払法人税等	957	267
賞与引当金	140	462
製品保証引当金	13	11
受注損失引当金	5	2
その他	2,806	2,959
流動負債合計	9,740	10,302
固定負債		
退職給付に係る負債	1,072	1,119
資産除去債務	8	8
その他	2,458	2,901
固定負債合計	3,539	4,029
負債合計	13,280	14,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,049	9,049
利益剰余金	21,569	24,381
自己株式	△4,693	△4,695
株主資本合計	30,925	33,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	△39
為替換算調整勘定	423	△284
退職給付に係る調整累計額	△43	△50
その他の包括利益累計額合計	472	△374
純資産合計	31,398	33,361
負債純資産合計	44,678	47,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
売上高	30,804	36,885
売上原価	17,622	21,760
売上総利益	13,181	15,125
販売費及び一般管理費		
役員報酬	160	239
給料及び手当	2,382	2,921
賞与	411	330
賞与引当金繰入額	212	351
退職給付費用	128	134
その他	4,351	4,880
販売費及び一般管理費合計	7,648	8,858
営業利益	5,533	6,267
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	1,152	235
受取賃貸料	38	38
その他	18	13
営業外収益合計	1,226	301
営業外費用		
支払利息	4	7
為替差損	44	36
貸倒引当金繰入額	8	39
雑損失	8	3
その他	3	3
営業外費用合計	68	91
経常利益	6,691	6,477
特別利益		
投資有価証券売却益	20	34
子会社株式売却益	—	37
貸倒引当金戻入額	—	109
その他	0	—
特別利益合計	20	180
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	3
減損損失	19	—
解体撤去費用	45	—
その他	0	—
特別損失合計	66	3
税金等調整前四半期純利益	6,645	6,655
法人税、住民税及び事業税	2,145	2,411
法人税等調整額	58	△199
法人税等合計	2,204	2,211
四半期純利益	4,441	4,443
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,441	4,443

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益	4,441	4,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△234	△90
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	403	△633
退職給付に係る調整額	5	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	40	△115
その他の包括利益合計	215	△847
四半期包括利益	4,656	3,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,656	3,596

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	7,382	2,693	1,278	10,023	1,617	3,993	3,301	30,291	511	1	30,804
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	103	115	26	29	—	—	18	293	2	△296	—
計	7,486	2,809	1,305	10,052	1,617	3,993	3,319	30,585	513	△295	30,804
セグメント 利益	2,237	754	136	1,263	137	703	72	5,305	26	202	5,533

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額202百万円には、セグメント間取引消去32百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益169百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「カード機器及びその他事務用機器」セグメントにおいて、NBS Technologies Inc.の全株式を取得し、連結子会社といたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,178百万円であります。なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、入手可能な合理的情報に基づき、暫定的に算定された金額であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	8,448	4,224	1,250	11,909	1,791	3,778	5,003	36,407	476	1	36,885
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	200	78	19	28	—	—	12	339	—	△339	—
計	8,649	4,303	1,269	11,938	1,791	3,778	5,016	36,747	476	△339	36,885
セグメント 利益	2,928	631	127	1,564	159	647	92	6,150	108	8	6,267

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。
2. セグメント利益の調整額8百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益6百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれんの発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

当社連結子会社である株式会社ドッドウエル ビー・エム・エスは、平成28年3月29日の取締役会において、プールズ株式会社の発行済株式総数の90%を取得し、子会社化することについて決議いたしました。

(1) 株式取得の目的

プールズ株式会社は、ロール紙と除菌液から清潔なおしぼりを提供することができる、自動おしぼり製造機を製造しております。

株式会社ドッドウエル ビー・エム・エスの、カード発行装置等の医療事務機器の顧客基盤を活かした医療・介護の現場での販売の拡大と、消耗品のストックビジネスによる安定収益の確保を図ることができると判断し、当該会社を子会社とすることといたしました。

(2) 株式取得会社の概要

名 称: プールズ株式会社
 所 在 地: 愛知県豊橋市下地町字天神34番地2号
 事 業 内 容: 自動おしぼり製造機の製造販売
 資 本 金: 184百万円

(3) 株式の取得日

平成28年4月1日

(4) 取得する株式

取得株式数: 6,642株
 取得価額: 925百万円